

横浜市上下水道シンポジウム

～グローバル時代における上下水道を考える～



©Hideo MORI

日時 平成29年1月13日(金) 午後1時30分～4時30分

会場 横浜市開港記念会館 講堂

主催 横浜市環境創造局、横浜市水道局、横浜水ビジネス協議会

- 基調講演 吉村 和就 グローバルウォータ・ジャパン代表
- 特別講演 松田 和久 厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部水道課水道計画指導室長
加藤 裕之 国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道事業課長

休憩

- パネルディスカッション (コーディネーター 滝沢 智 東京大学大学院工学系研究科教授)



横浜市開港記念会館 1号室で、
横浜市上下水道事業を紹介する
展示会を開催しています。



司会 須藤 桜子
2016年度 ミス日本
「水の天使」

○基調講演

「国際的な水ビジネス市場と勝てる日本の戦略」

吉村 和就 グローバルウォーター・ジャパン代表
(国連テクニカルアドバイザー)



世界人口の増加、経済の発展により、2050年には現在の水資源の1.5倍必要となると予測されている。人間を含めあらゆる生態系に必ず必要な水資源をどのように確保してゆくのか。今回は国際的な水ビジネス展開まで講師の豊富な国際経験と具体的な数値を持って「世界の水問題」の解決に向けて我々のなすべきことを一緒に考えてみたい。

1. 世界の水市場の動向
 - ・水関連市場の伸び
 - ・世界巨大水企業や各国の水戦略
 - ・アジア各国の水ビジネスチャンス
 - ・産業分野での水ビジネスチャンス
2. COP21/パリ協定は水ビジネスチャンス
 - ・地球温暖化の影響はすべて水の姿となって我々の前に現れる
 - ・水資源とエネルギー問題
3. 勝てる日本の水戦略
 - ・日本の水関連企業の強み・弱み
 - ・水・エネルギー・食糧は三位一体で考えよ
 - ・発見力と想像力
 - ・世界で戦える人材とは

○特別講演

「日本の水道と国際展開」

松田 和久 厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部水道課水道計画指導室長

「下水道分野における国際展開の取組み」

加藤 裕之 国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道事業課長

※ 吉村 和就 グローバルウォーター・ジャパン代表

日本を代表する水環境問題の専門家であり、国連本部勤務の経験を踏まえ、日本の環境技術を世界に広める努力を続けている。その間、多くの講演(英語、日本語)をこなし、関連業界紙、専門誌、海外メディアに数多く寄稿している。NHK クローズアップ現代、TBS、テレビ東京、フジテレビ等では、水問題を国民に分かりやすく解説している。更に、水の安全保障戦略機構・技術普及委員長、経済産業省「水ビジネス国際展開研究会」の委員等を歴任するとともに、国際的に通用する若手の教育に力を入れている。

○パネルディスカッション

〈コーディネーター〉

滝沢 智 東京大学大学院工学系研究科教授



〈パネリスト〉

吉村 和就 グローバルウォーター・ジャパン代表
松田 和久 厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部水道課水道計画指導室長
加藤 裕之 国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道事業課長
富井 孝 横浜市水道局事業推進部長
折居 良一郎 横浜市環境創造局下水道事業推進課長
鈴木 慎哉 横浜ウォーター株式会社取締役・プロジェクト営業統括部長
露口 哲男 JFEエンジニアリング株式会社アクアソリューション本部長



我が国で最初に近代上下水道が整備されたのは、1859年に開港した横浜。19世紀後半、世界的に流行したコレラなど衛生状況を改善するため、英国人技師を招き、近代上下水道の技術が導入された。そして、都市に不可欠なインフラとして、海外の技術も取り込みながら、横浜市の上水道は発展してきました。培われた経験・ノウハウを生かして、近年、横浜市水道局／環境創造局は、世界の水問題の解決、海外水ビジネス展開の支援のために国際貢献事業を行っており、横浜市、上下水道事業の価値向上のほか、職員の人材育成にもつなげている。

このように、横浜市の上水道事業は、市内で上下水道サービスを提供するだけでなく、歴史的に見ても海外と深い関係があり、このグローバル時代において幅広く活動している。

横浜市上下水道の国際貢献事業が進展し、上下水道の一体的な取組みが更に求められ、グローバル化が進んだ今、横浜市水道局／環境創造局、海外水ビジネス展開に取り組む民間企業、市民の皆様を含む横浜市上下水道事業のステークホルダーで、グローバル時代における上下水道について考えてみたい。

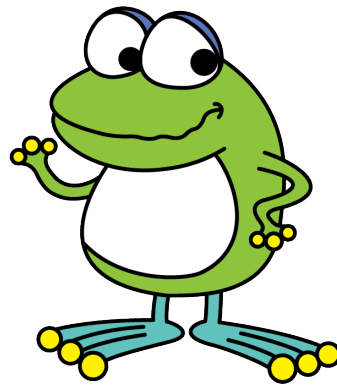


※ 滝沢 智 東京大学大学院工学系研究科教授

東京大学大学院工学系研究科博士課程を修了後、長岡技術科学大学助手、建設省土木研究所下水道部研究員を経て、1992年に東京大学工学部都市工学科助教授に就任し、2006年から現職に就いている。専門分野は高度浄水処理、都市水システムの計画、気候変動による都市水システムへの影響等。2010年の水システム国際展開研究会WG座長、2013年3月に公表された新水道ビジョンの策定検討委員会座長をはじめ、国や地方自治体の上下水道分野に関する各種の委員および委員長を歴任している。



横浜市水環境事業キャラクター
かばのだいちゃん



横浜市水道局キャラクター
はまピョン

※ 須藤 櫻子 2016 年度ミス日本「水の天使」

東京都出身の大学生で、小学校からテニスが続けているスポーツ女子。2016 年度ミス日本「水の天使」を受賞し、生命の豊かさを支える美しい水のための人々の努力および世界の水インフラの発展に貢献できる日本の素晴らしい経験と技術を分かりやすく伝える役割を担う。水インフラへの理解と関心を高めるイベント活動や PR 活動に取り組んでいる。